

機械器具（12）理学診療用器具
管理医療機器 手持型体外式超音波診断用プローブ 40768000
特定保守管理医療機器 ドブラ専用探触子 UST-2265-2

【禁忌・禁止】

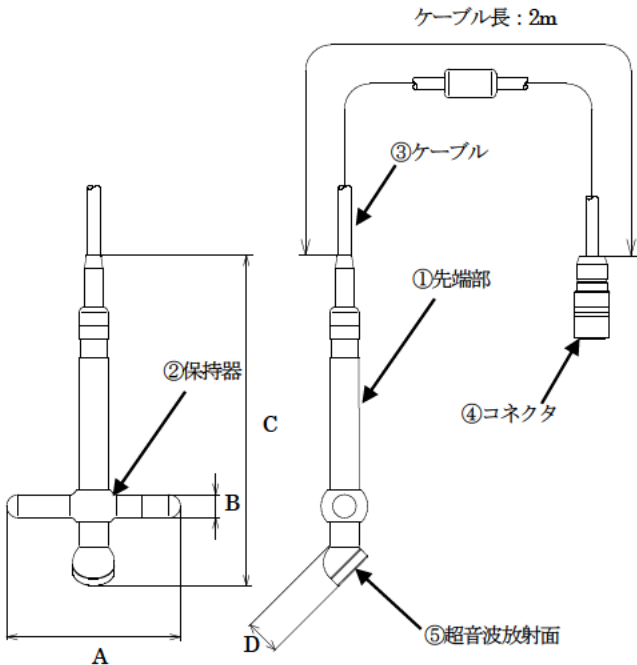
次の部位には使用しないこと
・眼球

【形状・構造及び原理等】

- 構成
 - ①先端部
 - ②保持器
 - ③ケーブル
 - ④コネクタ
 - ⑤超音波放射面
- 体に接触する部分の原材料
先端部、保持器：変性ポリフェニレンオキサ이드
超音波放射面：エポキシ樹脂
- 外観図及び寸法

A	B	C	D
67mm	9mm	127mm	14mm

寸法は記入数値の±10%以内



4. 動作原理

- (1) 探触子の振動子へ送信機から電気パルス信号を加えると、振動子は電気振動を機械振動エネルギーに変換する働きをし、振動子に接する生体または、液体などの媒質中へ超音波を放射する。
- (2) 発射された超音波は血流速度に依存した周波数偏移をもって反射される。
- (3) 並列された受信用振動子は、超音波振動によって機械的に振動し、機械電気変換作用によって電気エネルギーに変換する働きをして受信するものである。受信されたエコーは再び電気信号に変換され、送信周波数と受信周波数との間のドブラシフト量を、血流速度に換算し、表示させる。

【使用目的又は効果】

超音波を用いて体内の形状、性状又は動態を可視化し、画像情報を診断のために提供する装置に使用する。

【使用方法等】

1. 使用方法
 - (1) 日常の始業点検（外観検査等を行う）
 - (2) 必要に応じて、機器の消毒・滅菌を行う
 - (3) 探触子を当該超音波画像診断装置の所定の接栓座へ接続する。
 - (4) 当該超音波画像診断装置の操作方法に従って適切な動作状態に調整する。
 - (5) 観測したい被検者の部位へ探触子の超音波放射面を当てる。
2. 組み合わせて使用する医療機器

本探触子は、以下の超音波画像診断装置と接続して使用のこと。

販売名	*認証番号
プロサウンド SSD-α5	21600BZZ00203000
プロサウンド α6	221AABZX00123000
プロサウンド α7	219AABZX00237000
プロサウンド SSD-α10	21600BZZ00170000
プロサウンド SSD-4000	21200BZZ00300000
プロサウンド F75	222AABZX00075000
超音波診断装置 F37	223AABZX00150000
超音波診断装置 ARIETTA 70	225ABBZX00156000
超音波診断装置 ARIETTA 60	225ABBZX00167000
デジタル超音波診断装置 Noblus	224ABBZX00092000

** 製造販売業者：富士フイルム株式会社

取扱説明書を必ずご参照下さい。

【使用上の注意】

1. 機器に消毒・滅菌が必要な場合は、取扱説明書に従い、消毒・滅菌を行うこと。
2. 使用後は、速やかに機器を洗浄すること。
3. 落したりぶつけたりしないこと。

【保管方法及び有効期間等】

耐用期間：3 年（自己認証データによる）

【保守・点検に係る事項】

* 〈使用者による保守点検（日常点検）〉

1) 目視による点検

(1) 外観の確認

プローブの外観に異常がないことを確認すること。

- ・ケーブルに損傷や磨耗がないこと。

(2) 清浄性の確認

清浄な状態であることを確認すること。

- ・プローブの洗浄・消毒方法は、取扱説明書等の指示に従って行うこと。

2) 機能の確認

(1) プローブの正常状態の確認

プローブの正常状態・正常動作を確認すること。

- ・プローブを診断装置に接続し、正常に動作すること。
- ・異音、異臭がないことを確認すること。

詳細は取扱説明書を参照すること。

〈業者による保守点検〉

定期点検を弊社又は弊社の指定する業者に依頼すること。

点検項目	頻度
安全点検	1 回／年

詳細は取扱説明書を参照すること。

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

富士フイルム株式会社

TEL:0120-771669

販売業者

富士フイルムメディカル株式会社

TEL:0570-02-7007（ナビダイヤル）